

## 文化・芸術

### 「A夫人」

1946年ころ、油彩・板  
35.5cm×27.5cm  
個人蔵（東京国立近代美術館寄託）

### 松本竣介（1912～48年）

複雑に塗りの重ねられた暗い背景に浮かび上がる人物が、こちらをすこし横目に見ています。その表情は、無表情なようで、かすかにほほえんでいるかのようにも見えます。

松本竣介の描く人物像は、匿名性が高く、国籍すらも曖昧なことが多いですが、本作も個人の特徴をとらえたというよりも、無数の線や色の重なりによって、見る者の想像力をかき立てるようです。その匿名性は、A夫人というタイトルからもうかがえます。ともすれば性別すらも曖昧な人物像。その表現は、晩年の抽象表現へとつながっていきます。

現在開催中の企画展「松本竣介 読書の時間」では、本作をはじめとした多数の婦人像を展示しております。婦人像における松本竣介の表現の変遷をぜひご覧ください。

また、大川美術館では今週土曜、23日にチェロコンサートを開催いたします。竣介の描く婦人像を鑑賞したあと、チェロの音色に癒やされる優雅なひとときを過ごしませんか。

（池田）

### 名画の扉

大川美術館企画展から

